

## 河川工作物アドバイザー会議の経過報告・今後の予定

### 1 令和3年度（2021年度）河川工作物 AP 会議の開催状況

#### 第1回会議（令和3年8月26日（木）web開催）

第2期の長期モニタリング計画に向けた調査手法の見直し、ルシャ川、サシルイ川、オッカバケ川、イワウベツ川のダム改良、ルシャ川河床路等について議論を行った。

なお、例年同時開催している現地検討会については、コロナ感染症拡大防止等により、10月18～19日に延期して開催する予定。

### 2 第44回世界遺産委員会決議への対応について

世界遺産委員会において知床の保全状況にかかる決議案が、2019年のIUCN諮問ミッションの勧告に対する当該国の回答に留意するという事で決議され、決議事項7のa), b), c)の勧告について、今後、保全状況報告を事務局（林野庁・北海道）で回答（案）を作成して、次回開催（2回目）のAP会議及びメール等を活用し、対応していくこととした。

### 3 長期モニタリングについて

#### (1) 長期モニタリング実施計画に基づく調査（令和3年度）

##### ① 淡水魚類の生息状況、特に知床の淡水魚類相を特徴付けるオショロコマの生息状況

6月から10月まで遺産地域内外42河川の水溫調査に着手するとともに、9河川の魚類生息調査及び環境DNA調査についても引き続き実施。

##### ② 河川内におけるサケ類の遡上数、産卵場所および産卵床数モニタリング（隔年実施）

ルシャ川、テッパンベツ川、ルサ川について、カラフトマスの遡上数と産卵床等について8月から10月にかけて実施。

#### (2) 第2期長期モニタリング計画について

評価シートの主なモニタリング項目について、次期計画の検討に向けた基礎整理について事務局素案に対して検討を行った。

また、長期モニタリング実施計画に基づく各種調査における第2期からの調査手法について、事務局から提案し議論された。

オショロコマ調査については、捕獲調査の実施河川を毎年固定8河川で行い、環境DNA解析は対象河川を24河川とし、捕獲調査の河川を除く16河川を8河川ずつ隔年で実施。採水、水溫計測及び物理環境調査については、これまでどおり42河川で実施することを提案。

サケ類調査については、遡上数調査の期間の短縮と稚魚降下数調査の追加を提案。降下数調査については、「シロザケの稚魚も同時期に降下するので、カラフトマスだけでなく両方カウントしモニタリングする方が良い」との意見があり、検討・追加していくこととした。

### 4 河川工作物について

#### (1) ルシャ川ダム改良

2019年度に着手したダムの改良工事について、今年度の工事の進捗状況及び来年度の実施計画について説明。

また、今年度実施するシロザケ産卵床数調査の実施計画についても説明。

## (2) サシルイ川ダム改良

昨年度第2回 AP 会議での魚道の改良についての検討を受けて、改良工法を比較検討した結果、石積みスロープ式魚道を新設することとし、工事概要と来年度の工事工程について説明。

## (3) オッカバケ川ダム改良

昨年度改良を終了した2号ダム上下流の河床変化を把握するための河川測量、産卵環境調査の実施及び今後の1号ダム改良のスケジュールについて説明。

iRICによる河床変動計算シミュレーションの結果について報告。

## (4) イワウベツ川ダム改良

昨年度第2回 AP 会議において改良案を提案・議論された結果を受けて検討した、No. 7、No. 3ダム改良案について説明。内容は、鋼材スリットからコンクリートくし形スリット工法への変更と、石組斜路部の改良についての説明。

## (5) ルシャ川河床路の状況

昨年度からの河床路の一部流出・改良の経過について説明。今後も河床路の耐久性、走行性、河床路上下流の魚類の遡上環境についてモニタリングすることを説明。

## 6 今後の予定

第2回河川工作物アドバイザー会議を令和4年1月下旬に札幌市で開催する予定。

## 7 その他

特になし。